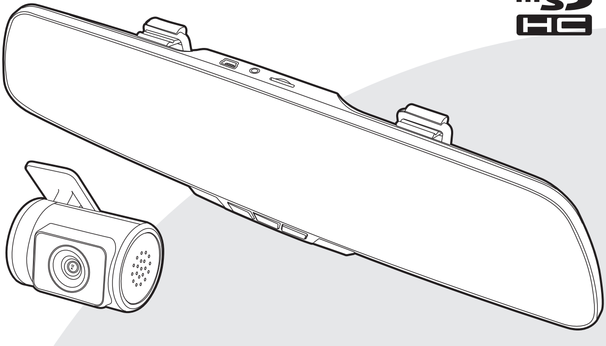
DIARECO

リアカメラ搭載
ルームミラー型ドライブレコーダー

NDR-RC187M



取扱説明書
兼 保証書

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は車載用ドライブレコーダー本体およびシステムに関する取扱説明書です。

■ご使用の前には、本書をよくお読みの上、記載された内容にしたがって正しくご使用ください。
■裏表紙の保証書に「お買い上げ日・販売店名」などが記入されているか必ずお確かめの上、本書とともに大切に保管してください。

⚠ 事故が発生した場合、録画データが上書きされないよう電源をオフにし、microSDHCカードを抜いて保管することをお勧めします。

RC187M2010V1

A New Way to See the World
NPLACE
NPLACE Co.,Ltd.

目次

はじめに

■免責事項／使用前の注意 …… 1
■使用上の注意 …… 2

製品内容

■内容物 …… 5
■各部の名称 …… 6

取り付け方法

■取り付ける前に必ずお読みください …… 7
■取り付け方
・ルームミラーに取り付ける …… 8
・リアカメラを取り付ける …… 9
・シガーソケットへの接続 …… 11
・映像を確認して、角度を調整する …… 12

基本動作説明

■起動する
・電源をオンにする …… 13
・起動時に確認すること …… 13
・モード切替について …… 15
・動画モードで録画する …… 16
・電源をオフにする …… 17
・リセットする …… 17
・アイコン一覧 …… 17
■ファイルの再生／保護・削除
・再生モードに切り替える …… 18
・ファイルを再生する …… 19
・ファイルを保護する …… 20
・ファイルを保護解除する …… 22
・ファイルを削除する …… 25
■設定する
・設定メニューを表示する …… 27
・設定メニューの内容 …… 28
・動体検知（駐車モード）を設定する …… 29
・日付／時刻を設定する …… 30
・microSDHC カードのフォーマット …… 31
・設定をリセットする …… 31
・初期値一覧 …… 32
■microSDHC カードについて
・microSDHC カードの取り扱い方 …… 33
・microSDHC カードの入れ方／出し方 …… 33
■録画ファイルについて
・録画時間の目安 …… 34
・microSDHC カードの容量の割当 …… 34
・録画ファイルの種類について …… 34
・パソコンでファイルを見る …… 36

トラブルシューティング

■故障かな？と思ったら …… 37

本体仕様 / アフターサービス

■仕様 …… 39
■基本操作一覧 …… 40
■アフターサービス …… 41

保証書 裏表紙

はじめに

免責事項／使用前の注意

【免責事項】

・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失などについては、当社は一切その責任を負いかねます。
・本製品(ソフトウェア含む)は日本国内での使用を前提としており､日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
・本製品を使用中にデータ等が消失した場合でも、データなどの保証は当社では一切の責任を負いかねます。
・正常に取り付けられていない場合、本製品が落下することがあります。誤った取り付け方、誤った場所に取り付けたことにより発生する製品ならびに車の異常は、当社では一切の責任を負いかねます。
・本製品で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切の責任を負いかねます。
・microSDHC カード内のデータ加工などによるデータ破損・紛失などは当社では一切の責任を負いかねます。microSDHC カードの紛失または使用者の不注意による損傷などは保証対象外となり、当社では一切の責任を負いかねます。
・microSDHC カードの消耗に起因する故障、または損傷については当社では一切の責任を負いかねます。
・本製品の使用および取付工事に関わる車の問題に関して、当社では一切の責任を負いかねます。
・いかなる場合でも、取付および撤去に関わる工事費等を当社ならびに販売店で負担することができません。
・本書に使用されている画像はイメージであり、実際と異なる場合があります。

安定的な動作のため､1～2週間に一度の microSDHC カードのフォーマットをおすすめします。microSDHC カードは消耗品です。長期間使用すると保存機能に問題が発生する恐れがありますので、定期的に新しい microSDHC カード（Class 10 以上）に買い替えることを推奨します。

【使用前の注意】

・取扱説明書および本製品の仕様に関して、改良のため予告なく変更することがあります。
・本書に掲載されているイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
・本書の内容に関しましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら、サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いします。

はじめに

使用上の注意

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、安全上の注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。

この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への人的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願い致します。

次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
注意	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、「注意」しなければならない内容です。	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

長時間、高温・直射日光にさらされる場所や湿度の高い場所への設置、車内への放置は故障の原因となります。使用しない場合は必ず本体を外して保管してください。

⚠警告

ケーブル類は、運転操作の妨げにならないようにまとめてください。ハンドルやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。 事故・ケガの原因となります。	**本機は外国車では使用できない場合があります。** 本機は DC12〜24V 対応です。ただし、シガーソケットの形状により使用できない場合があります。
本機は運転操作や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。 正しく取り付けないと事故・ケガの原因となります。	**本機のレンズ部を清潔にしてください。** 本機のレンズ部に異物またはステッカーなど視野を妨げるものがある場合には正常な録画ができません。また、周りに物が置いてある場合にもガラスに反射して見える場合がありますので、周りには物を置かないようにしてください。
本機を分解・改造したり、衝撃を与えたりしないでください。 火災・感電・故障の原因となります。	**本機またはケーブルをエアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取り付けないでください。** 事故・ケガの原因となります。
本機を医療機器の近くで使用しないでください。 電波により医療機器に悪影響を与えるおそれがあります。心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用の場合、各機器のメーカー、医師に必ずご相談ください。	**本機に付属の部品以外は使用しないでください。** 指定以外の部品を使用しますと、破損、燃焼、正常に設置できずに外れることがあり、危険です。必ず付属品をご使用ください。
水、湿気、蒸気、ホコリ等が多い場所には設置しないでください。 事故・火災・感電・故障の原因となります。	**本機の画面が映らない、音が出ない、異常な動作をするなど故障した状態のまま使用しないでください。** ただちに使用を中止して、お買い上げの販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。事故・火災・感電の原因となります。

走行中は製品の操作をしないでください。

必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。

microSDHC カードを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。

誤って飲み込んだりケガなどの原因になることがあります。

⚠注意

一定以下の衝撃／事故では、イベント録画されない場合があります。

常時録画になります。

事故が発生した場合、電源をオフにし microSDHC カードを抜いて保管することをお勧めします。

録画データが上書きされる恐れがあります。

取り付けはしっかり行ってください。

製品動作に問題を起こしたり脱落 / 落下する恐れがあります。

本機内部に異物や液体が入らないように気をつけてください。

故障の原因となります。

適正温度以上の高温ならびに以下の低温で使用しないでください。

本機は -10℃～60℃で正常に動作します。

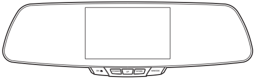
本機を濡れた手で触らないでください。

感電やケガの原因となります。

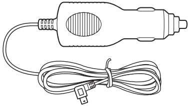
本機を拭くときにベンゼン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。

製品に傷がつくことがあります。本機を拭くときは柔らかい布を使って乾拭きをしてください。

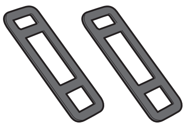
内容物



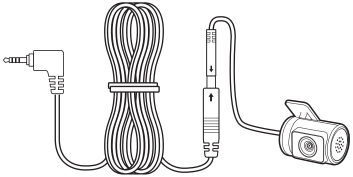
本体



専用シガー電源アダプター
OP-CA15D
（DC12V/24V）1.5A
ケーブル長：約 3.5m



取付バンド 2 個
OP-B167MD
※本体に装着済



専用リアカメラ接続セット

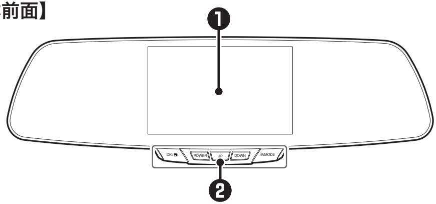
専用リアカメラ **OP-RC17HD** ケーブル長：約 0.4m
接続ケーブル **OP-RC175CA** ケーブル長：約 6.5m

●ケーブル固定クランプ **OP-CC16**（16 個）（※適切な場所、個数をご使用ください。）
●microSDHC カード **OP-SD8C10**（8GB Class10、購入日より保証 90 日間）
●取扱説明書 兼 保証書 **OP-M187（本書）**

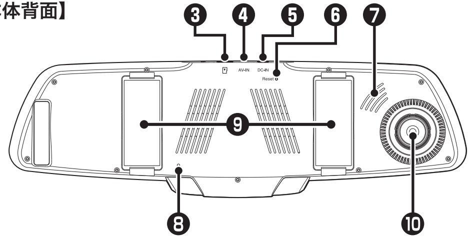
※内容物がすべて揃っていることを確認してください。
※本製品は 8〜32GB までの microSDHC カード（Class 10 以上）に対応しています。
※製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

製品内容
各部の名称

【本体前面】



【本体背面】



❶ **LCD（5 インチ IPS モニター）**
記録中の映像、設定内容などを表示します。

❷ **操作ボタン**
本体の操作や設定を行います。

❸ **microSD スロット**
記録用のmicroSDHCカードを挿入します。

❹ **カメラ入力端子（AV-IN）**
リアカメラ（接続ケーブル）を接続します。

❺ **電源端子（DC-IN）**
専用シガー電源アダプターを接続します。

❻ **リセットボタン**
本機を強制的に再起動する際に使用します。

❼ **スピーカー**
録画ファイルの音声や効果音が出ます。

❽ **マイク**
録画時に周囲の音を録音します。

❾ **取付バンド部**
純正のルームミラーに取り付けるときに使用します。

❿ **カメラレンズ**
車両前方を撮影します。

取り付ける前に必ずお読みください

取り付け時の注意事項

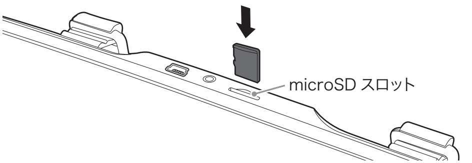
- ●取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となります。
- ●本製品は二輪車での使用を想定していません。二輪車でのご使用はおやめください。
- ●取り付ける前に、本機に電源ケーブルが接続でき、操作が行える位置かどうかをご確認ください。
- ●純正ルームミラーの形状、または周辺の干渉物によっては取り付けできない場合があります。
- ●本機はルームミラーに取り付ける仕様のため、走行中の振動などでルームミラーが振れてしまったり、傾いてしまう場合があります。
- ●本機は純正ルームミラーと距離感、視界が異なります。
- ●microSDHC カードを挿入する向きにご注意ください。
- ●取り付けおよび角度の調整を行う場合、必ず純正のルームミラーを持ちながら行ってください。ルームミラーを持たずに行うと、本機が外れたり、取付強度の弱い一部の車両（軽自動車やフロントガラス接着型の車等）のルームミラーが破損する恐れがあります。
- ●本機の鏡面に衝撃を与えないでください。
- ●本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置すると、誤動作を起こす可能性があります。
- ●テレビ／ラジオアンテナの近くで使用すると、ノイズが発生したり、音飛び、感度低下の原因となる場合があります。
- ●本機がルームミラーにしっかり装着されていることをご確認の上、走行してください。
- ●本機はルームミラーに直接取り付けるため、振動によりミラーが振れてしまったり、ルームミラーが傾く場合があります。
- ●本機を装着すると、純正ルームミラーの防眩機能は使用できなくなります。
- ●カメラレンズ周囲に他のものを配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ●本機の取付バンドは、時間が経過すると劣化します。劣化すると製品の脱落／落下につながりますので、新しい取付バンドに交換してください。交換の際は、サポートセンターにお問い合わせください。
- ●取付時に、カメラレンズの保護フィルムを必ずはがしてください。

！ 本機に付属している専用リアカメラ以外は絶対に接続しないでください。故障、火災の原因となります。

取り付け方

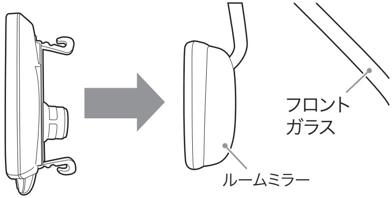
ルームミラーに取り付ける

1 本体上部の microSD スロットに、microSDHC カードを図のように「カチッ」と音がするまで挿入します。

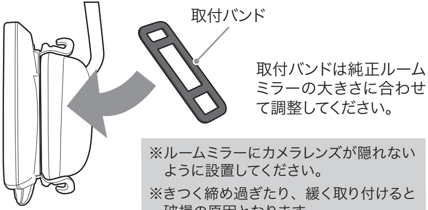


※図のように microSDHC カードの向きを正しくしてから差し込んでください。(→P.33)
※microSDHC カードは、初めに必ず本機でフォーマットをしてからご使用ください。(→P.31)

2 本機についている取付バンドを外して、ルームミラーに本機を合わせます。

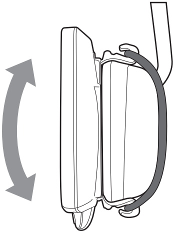


3 ルームミラーの後方から、取付バンドを取り付けます。走行中に落下しないようにしっかり取り付けてください。



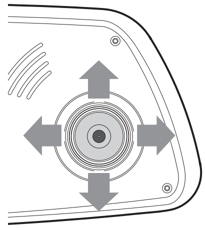
※ルームミラーにカメラレンズが隠れないように設置してください。
※きつく締め過ぎたり、緩く取り付けると破損の原因となります。

4 本機と一緒に、ルームミラーの角度を調整します。



※本機のミラーで後方が見えることを確認してください。正しく取り付けないと事故の原因となります。

4 カメラの角度を微調整します。



・カメラは上下左右に動きます。モニターで確認しながら適切な位置を決めてください。
・レンズの保護フィルムは必ず外してください。

※カメラの調整は、電源オンのときモニターが映っていることを確認してから行ってください。
※カメラレンズに触れないようにしてください。

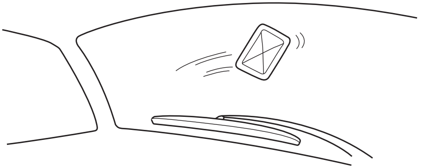
電源をオンにした後、適切な場所を映しているかモニターを一度確認してください。（→P.12）

・取り付けおよび角度の調整を行う場合、必ず純正ルームミラーを持ちながら行ってください。本機が外れたり、取付強度の弱い一部の車両（軽自動車やフロントガラス接着型の車など）の純正ルームミラーが破損するおそれがあります。
・microSDHC カードを挿入する向きにご注意ください。間違った向きで無理やり押し込むと、本機及び microSDHC カードが破損する原因となります。
・microSDHC カードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
・取り付ける前に、本機に電源ケーブルが接続でき、ボタン操作が行える位置かどうかをご確認ください。

リアカメラを取り付ける

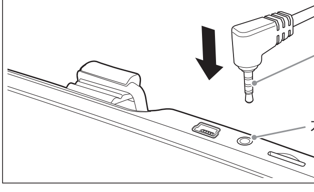
本機に付属している専用リアカメラ以外は絶対に接続しないでください。故障、火災の原因となります。

1 リアカメラを取り付ける適正な位置を決め、汚れ、油分等をふきとります。

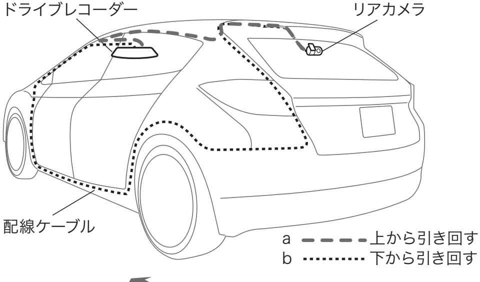


※ガラスクリーナー等を使用いただくとより効果的です。

2 本機のカメラ入力端子（AV-IN）に、専用リアカメラプラグを接続します。



3 専用リアカメラのケーブルを配線します。



ケーブル固定クランプのクリップ部分を開け、ケーブルを通します。

クリップ部分をフックに掛け、「カチッ」と音がするまで閉じます。

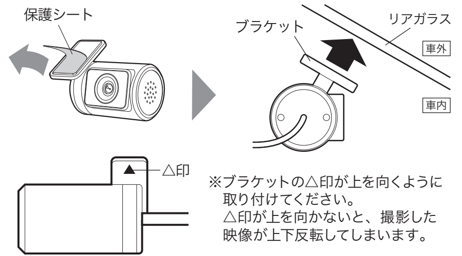
●付属のケーブル固定クランプを使って、視野の妨げや運転操作、エアバッグ動作に支障がないように配線してください。

●バックドアやトランク等を開閉し、ケーブルが挟まれないか確認してください。またケーブルが引っ張られる場合、ケーブルを余分にたるませて引き回してください。

●上記のイラストはあくまでも一例です。お客様の車種に合わせて配線してください。

配線前に、リアカメラを取り付ける位置にセロハンテープ等のはがしやすいもので仮止めをしておきます。

4 リアカメラの両面テープ保護シートを剥がして、リアガラスに取り付けます。このとき、ブラケットの△印が上を向くようにテープを貼り付けてください。貼り付け後、固定するためにしばらく放置します。



※ブラケットの△印が上を向くように取り付けてください。
△印が上を向かないと、撮影した映像が上下反転してしまいます。

※リアカメラは防水仕様ではありませんので、車外には設置しないでください。故障の原因になります。

※走行中、落下しないようにしっかり取り付けてください。

※取り付け時、カメラの調整時は停車した状態で行ってください。

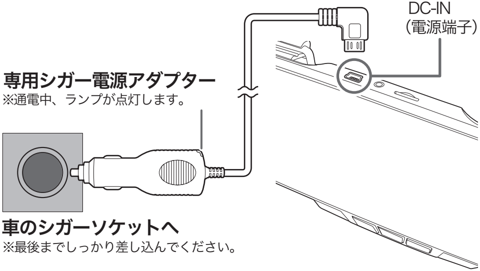
※電熱線にかからないように取り付けてください。

※映像に電熱線が映り込むと、鮮明な映像が録画できませんので、角度を調整するときにご確認ください。

電源をオンにした後、適切な場所を映しているか、一度画面を確認してください。（→P.12）

シガーソケットへの接続

1 専用シガー電源アダプターを本機と車のシガーソケットに接続します。

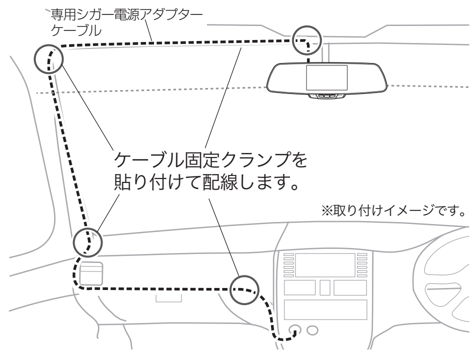


・シガーソケットの中に異物がないか確認してから、専用シガー電源アダプターを入れてください。

・本機は DC12 ／ 24V 車対応です。シガーソケットの形状(外国車等)によっては使用できない場合があります。

付属の専用シガー電源アダプター以外の電源ケーブルは、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

2 付属のケーブル固定クランプを使って、視野の妨げや運転操作、エアバッグ動作に支障がないように配線します。



配線によっては、まれに他の機器と干渉し合うことがあります。その場合、別の配線をお試しください。

・走行中、落下しないようにしっかり取り付けてください。
・取り付けは必ず停車した状態で行ってください。
・車種によっては、エンジンを切っても電源が切れない場合があります。その際は手動で電源を切るか、シガーソケットから電源アダプターを取り外してください。

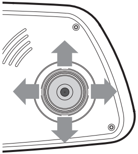
映像を確認して、角度を調整する

本体の電源をオンにして（→P.13）画面を確認しながら、適切な場所を映しているか確認します。
画面表示を切り替えるには、本機の**UPボタン**を押します。
（※カメラ映像の画面切り替え→P.14）

リアカメラが接続されている場合、起動時はフロント＋リアカメラの映像が表示されます。

フロントカメラ側

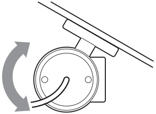
カメラレンズの角度で調整します。



フロントカメラの映像

リアカメラ側

リアカメラを回して、角度を調整します。



リアカメラの映像

起動する

電源をオンにする

1 microSD スロットに microSDHC カードを挿入します。（→P.33）

2 専用シガー電源アダプターを接続します。(→P.11）

3 車のACCがオンになると電源がオンになり（エンジンキー電源連動）、起動画面が表示されます。
起動画面が表示された後、動画モードになり録画を開始します。

録画を開始すると、画面上部に録画マーク（●REC）と録画時間が表示されます。

起動時にリアカメラが接続されていると、フロント／リアカメラの映像から表示されます。

起動時に確認すること

●日付／時刻が正しく設定されているか確認する

- **ご購入後は必ず、日付／時刻を設定してください。**
- 長時間使用していなかった場合、日付／時刻がリセットされています。その際は、日付／時刻を設定してから使用してください。
- 設定した日付／時刻は、使用していくとずれることがあります。随時確認し、実際と異なる場合、再設定をしてください。
（日付／時刻を設定する→ P.30）

●microSDHCカードが挿入されているか確認する

正しく挿入されていないと、「SD カードを挿入してください。」とメッセージが表示されます。

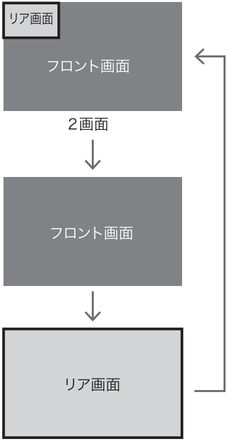
※microSDHCカードが挿入されていない場合、電源をオフにしてからmicroSDHCカードを挿入してください。
※書き込み速度が遅いmicroSDHCカードを挿入している場合、正しく認識されない場合があります。class10以上のmicroSDHCカードをご用意ください。
※microSDHCカードが破損していると認識できません。microSDHCカードをフォーマットするか、新しいmicroSDHCカードをご用意ください。

●映像が正しく撮影されているか確認する

P.12「映像を確認して、角度を調整する」を参照してください。

●カメラ映像の画面切り替え

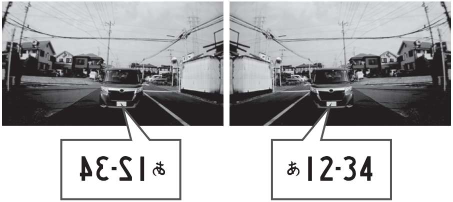
動画モードで **UP ボタン**を長押しすると、画面が以下のように切り替わります。(長押しするたびに、画面が切り替わります。)



【リアカメラ映像について】

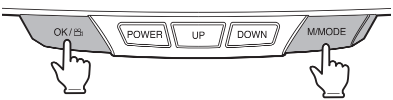
本機のリアカメラ映像は、動作中はモニターに「鏡像」で表示されますが、データは「正像」で保存されます。

【鏡像】　【正像】



モード切替について

本機を起動すると、動画モードからスタートします。
録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止してから **M/MODE ボタン**を長押しすることで、モードを切り替えることができます。



「M/MODE」ボタン 約2秒長押し

①動画モード（フロントカメラ・リアカメラ）

常時録画を開始します。
動画ファイルが生成されます。

「M/MODE」ボタン
約2秒長押し

②再生モード（フロントカメラ）

録画したファイルを再生することができます。

（右下にフロントカメラと表示）

「M/MODE」ボタン
約2秒長押し

③再生モード（リアカメラ）

録画したファイルを再生することができます。

（右下にリアカメラと表示）

動画モードで録画する

microSDHC カードが挿入された状態で本機を起動すると、動画モードになり、常時録画を開始します。

【録画画面】

❶ **音声録音**
オンのとき、何も表示されません。
オフのとき、 が表示されます。

❷ **録画／スタンバイ**
録画中：●REC が表示されます。
スタンバイ中：STBY が表示されます。

❸ **解像度**
現在録画している解像度を表示します。

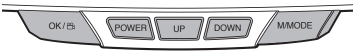
❹ **モード**
動画モードでは が表示されます。

❺ **microSD カード**
microSDHC カードが挿入されている
microSDHC カードが挿入されていない

❻ **現在時刻／録画時間**
左：現在の日付／時刻を表示します。
右：録画時間を表示します。

❼ **イベント録画**
常時録画中に **M/MODE ボタン**を押す、もしくは G センサーが一定の衝撃を感知すると、画面右下に が表示されます。該当する映像とその前後の映像がイベント録画として保存され、その次の映像から自動的に常時録画になります。

【録画中の操作方法】



：短押し…録画を停止／開始します。

：短押し…画面表示をオン／オフします。
長押し…電源をオン／オフします。

：長押し…リアカメラが接続されていると、画面表示が切り替わります。 （→ P.14）

：音声録音をオン／オフします。
録音していないときは が表示されます。

：録画中に押すと、現在撮影している映像と前後の映像がイベント録画として保存され、画面右下に が表示されます。
もう一度押すと常時録画に戻ります。

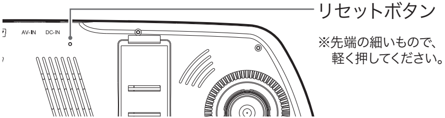
電源をオフにする

●車のエンジン（ACC）を切ったり、通電中にシガー電源アダプターを抜くと、約5秒後に終了画面が表示されて電源がオフになります。
●**POWER ボタン**を約 2 秒間長押しすると、終了画面が表示されて電源が切れます。

［終了画面］

リセットする

「ボタンを押しても反応しない」「画面がフリーズしてしまった」等、本機が動作しなくなったり誤動作を起こしたりした場合、ルームミラーから本体を取り外して、背面のリセットボタンを押して再起動をしてください。



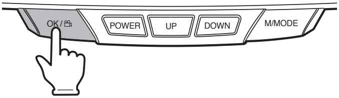
アイコン一覧

項目	アイコン	説明
モード		動画モード
		再生モード
動画解像度		FHD 1920×1080
		HD 1280×720
音声録音		録音していない状態
microSDカード		microSDHCカードが入っている
		microSDHCカードが入っていない
保護マーク		イベント録画中に走行画面に表示
		再生モード時に リストの保護ファイルに表示（→P.18）
パーキングマーク		動体検知がオンのとき表示

ファイルの再生／保護・削除

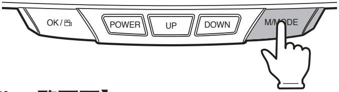
再生モードに切り替える

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。

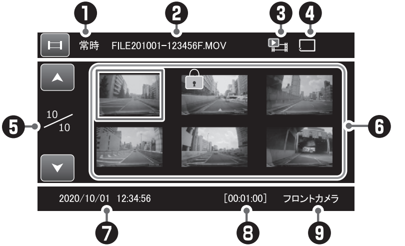


2 **M/MODE ボタン**を長押しして、再生モードに切り替えます。

ファイル一覧画面が表示されます。



【ファイル一覧画面】



❶ **録画タイプ**
「常時」「イベント」「駐車」を表示します。

❷ **ファイル名**
選択した動画のファイル名
●常時録画 … FILE[日付]-[時刻]F
●イベント録画 … EMER[日付]-[時刻]F
●駐車録画 … PARK[日付]-[時刻]F
※ファイル名末尾の F はフロントカメラ、R はリアカメラを示します。

❸ **モード**
再生モードでは が表示されます。

❹ **microSD カード**
microSDHC カードが挿入されている
microSDHC カードが挿入されていない

❺ **ページ数**
現在のページ数／全体のページ数を表示します。

❻ **ファイル**
選択したファイルは赤枠で表示されます。
保護されたファイルは左上に が表示されます。

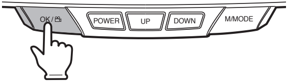
❼ **録画日時**
選択したファイルの録画した日時

❽ **録画時間**
選択したファイルの録画時間

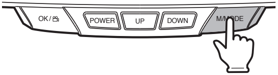
❾ **カメラ表示**
フロントカメラ映像のとき、フロントカメラと表示されます。
リアカメラ映像のとき、リアカメラと表示されます。

ファイルを再生する

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。



2 **M/MODE ボタン**を長押しして、再生モードに切り替えます。
ファイル一覧画面が表示されます。



3 ファイル一覧画面で、録画タイプを選択します。
録画タイプを選択するには、**M/MODE ボタン**を押して再生設定メニューを開き、「録画タイプ」から選択します。
(→P.28)

4 フロントカメラもしくはリアカメラを選択します。
フロントカメラ一覧画面のときに**M/MODE ボタン**を1回長押しすると、リアカメラの映像に切り替わり「リアカメラ」と表示されます。

5 **▲/▼ボタン**で、再生したいファイルを選択します。
選択したファイルは、赤枠で表示されます。

6 **OK ボタン**を押すと、ファイルが始めから再生されます。

7 **M/MODE ボタン**を押すと、ファイル一覧画面に戻ります。

【再生中の画面】

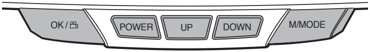
❶ **再生／一時停止**
再生のとき ▶
一時停止のとき ▶II が表示されます。

❷ **ファイル数**
現在のファイル／全体ファイル数

❸ **ファイル名**
現在再生しているファイル名

❹ **時間**
再生時間／録画時間 を表示します。

【再生中の操作方法】



：再生／一時停止します。

：短押し…画面表示をオン／オフします。
長押し…電源をオン／オフします。

：次のファイルを再生します。

：前のファイルを再生します。

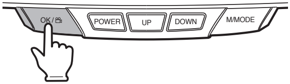
：ファイル一覧画面に戻ります。

ファイルを保護する

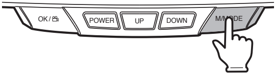
⚠ **フロントカメラ、リアカメラどちらかのファイルを「保護」すると、もう一方のファイルも連動して「保護」されます。**

●ファイルを1つ保護する

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。



2 **M/MODE ボタン**を長押しして、再生モードに切り替えます。ファイル一覧画面が表示されます。



3 ファイル一覧画面で、録画タイプを選択します。

録画タイプを選択するには、**M/MODE ボタン**を押して再生設定メニューを開き、「録画タイプ」から選択します。（→P.28）

4 フロントカメラもしくはリアカメラを選択します。

フロントカメラ一覧画面のときに**M/MODE ボタン**を1回長押しすると、リアカメラの映像に切り替わり「リアカメラ」と表示されます。

5 **M/MODE ボタン**を押して「保護」を選択し、**OK ボタン**を押します。

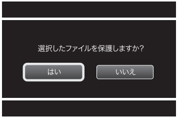
▲/▼ボタンで「保護」を選択してください。

6 「1つ保護」を選択し、**OK ボタン**を押します。

7 **▲/▼ボタン**で、保護したいファイルを選択します。

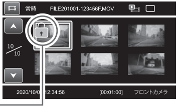
ファイル一覧画面が表示されます。選択したファイルは赤枠で表示されます。

8 「選択したファイルを保護しますか?」と表示されるので、「はい」を選択して **OK ボタン**を押します。



9 ファイル一覧画面に戻ります。

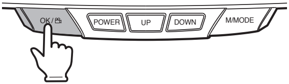
ファイルが保護されると、ファイル左上に が表示されます。



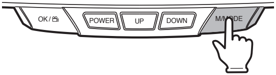
保護マーク

●ファイルをすべて保護する

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。



2 **M/MODE ボタン**を長押しして、再生モードに切り替えます。ファイル一覧画面が表示されます。



3 ファイル一覧画面で、録画タイプを選択します。

録画タイプを選択するには、**M/MODE ボタン**を押して再生設定メニューを開き、「録画タイプ」から選択します。(→P.28)

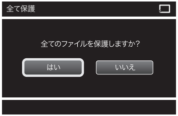
4 フロントカメラもしくはリアカメラを選択します。

フロントカメラ一覧画面のときに **M/MODE ボタン**を1回長押しすると、リアカメラの映像に切り替わり「リアカメラ」と表示されます。

5 **M/MODE ボタン**を押して「保護」を選択し、**OK ボタン**を押します。
▲/▼ボタンで「保護」を選択してください。

6 「全て保護」を選択し、**OK ボタン**を押します。

7 「全てのファイルを保護しますか？」と表示されるので、「はい」を選択して **OK ボタン**を押します。



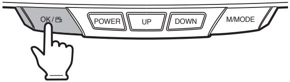
8 ファイル一覧画面に戻ります。
ファイルが保護されると、ファイル左上に が表示されます。

ファイルを保護解除する

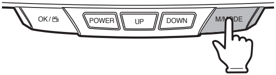
⚠ フロントカメラ、リアカメラどちらかのファイルを「保護解除」すると、もう一方のファイルも連動して「保護解除」されます。ご注意ください。

●ファイルを1つ保護解除する

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。



2 **M/MODE ボタン**を長押しして、再生モードに切り替えます。ファイル一覧画面が表示されます。



3 ファイル一覧画面で、録画タイプを選択します。
録画タイプを選択するには、**M/MODE ボタン**を押して再生設定メニューを開き、「録画タイプ」から選択します。(→P.28)

4 フロントカメラもしくはリアカメラを選択します。
フロントカメラ一覧画面のときに **M/MODE ボタン**を1回長押しすると、リアカメラの映像に切り替わり「リアカメラ」と表示されます。

5 **M/MODE ボタン**を押して「保護」を選択し、**OK ボタン**を押します。

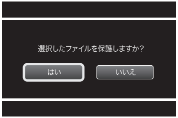
▲/▼ボタンで「保護」を選択してください。

6 「1つ保護解除」を選択し、**OK ボタン**を押します。

7 **▲/▼ボタン**で、保護解除したいファイルを選択します。

ファイル一覧画面が表示されます。選択したファイルは赤枠で表示されます。

8 「選択したファイルを保護解除しますか？」と表示されるので、「はい」を選択して **OK ボタン**を押します。

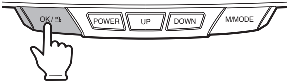


9 ファイル一覧画面に戻ります。

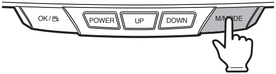
ファイルが保護解除されると、ファイル左上の🔒が消えます。

●ファイルをすべて保護解除する

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。



2 **M/MODE ボタン**を長押しして、再生モードに切り替えます。ファイル一覧画面が表示されます。



3 ファイル一覧画面で、録画タイプを選択します。

録画タイプを選択するには、**M/MODE ボタン**を押して再生設定メニューを開き、「録画タイプ」から選択します。(→P.28)

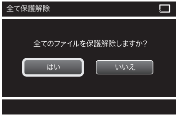
4 フロントカメラもしくはリアカメラを選択します。

フロントカメラ一覧画面のときに **M/MODE ボタン**を1回長押しすると、リアカメラの映像に切り替わり「リアカメラ」と表示されます。

5 **M/MODE ボタン**を押して「保護」を選択し、**OK ボタン**を押します。
▲/▼ボタンで「保護」を選択してください。

6 「全て保護解除」を選択し、**OK ボタン**を押します。

7 「全てのファイルを保護解除しますか？」と表示されるので、「はい」を選択して **OK ボタン**を押します。



8 ファイル一覧画面に戻ります。
ファイルが保護解除されると、ファイル左上の 🔒 が消えます。

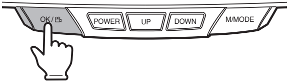
⚠ この項で説明している「保護」とは、各録画タイプにおいて、保存しておきたいファイルに対して「ロック」をかけることで、誤って削除されるのを防ぐことです。
ただし、microSDHC カードのフォーマットを行うと、保護したファイルも削除されてしまいますのでご注意ください。

ファイルを削除する

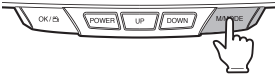
⚠ **フロントカメラ、リアカメラどちらかのファイルを「削除」すると、もう一方のファイルも連動して「削除」されます。ご注意ください。**

●ファイルを1つ削除する

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。



2 **M/MODE ボタン**を長押しして、再生モードに切り替えます。ファイル一覧画面が表示されます。



3 ファイル一覧画面で、録画タイプを選択します。
録画タイプを選択するには、**M/MODE ボタン**を押して再生設定メニューを開き、「録画タイプ」から選択します。(→P.28)

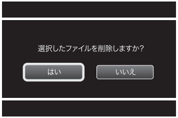
4 フロントカメラもしくはリアカメラを選択します。
フロントカメラ一覧画面のときに**M/MODE ボタン**を1回長押しすると、リアカメラの映像に切り替わり「リアカメラ」と表示されます。

5 **M/MODE ボタン**を押して「削除」を選択し、**OK ボタン**を押します。
▲/▼ボタンで「削除」を選択してください。

6 「1つ削除」を選択し、**OK ボタン**を押します。

7 **▲/▼ボタン**で、削除したいファイルを選択します。
ファイル一覧画面が表示されます。
選択したファイルは赤枠で表示されます。

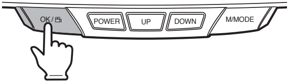
8 「選択したファイルを削除しますか?」と表示されるので、「はい」を選択して **OK ボタン**を押します。



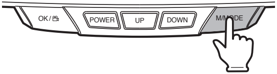
9 ファイル一覧画面に戻ります。
ファイルが削除されると、ファイル一覧画面から削除されます。
保護しているファイルは削除できません。

●ファイルをすべて削除する

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。



2 **M/MODE ボタン**を長押しして、再生モードに切り替えます。ファイル一覧画面が表示されます。



3 ファイル一覧画面で、録画タイプを選択します。

録画タイプを選択するには、**M/MODE ボタン**を押して再生設定メニューを開き、「録画タイプ」から選択します。(→P.28)

4 フロントカメラもしくはリアカメラを選択します。

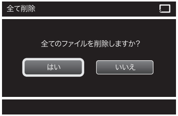
フロントカメラ一覧画面のときに**M/MODE ボタン**を1回長押しすると、リアカメラの映像に切り替わり「リアカメラ」と表示されます。

5 **M/MODE ボタン**を押して「削除」を選択し、**OK ボタン**を押します。

▲/▼ボタンで「削除」を選択してください。

6 「全て削除」を選択し、**OK ボタン**を押します。

7 「全てのファイルを削除しますか？」と表示されるので、「はい」を選択して **OK ボタン**を押します。



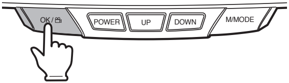
8 ファイル一覧画面に戻ります。

すべてのファイルが削除されますが、保護したファイルは残ります。

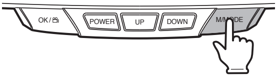
設定する

設定メニューを表示する

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。



2 **M/MODE ボタン**を押します。
設定メニューが表示されます。



【設定メニュー画面】

選択した項目は黄色に囲われます。
下段の各アイコンも黄色で表示されます。

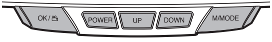
●設定メニュー画面について

①**2**において **M/MODE ボタン**を押すとき、
・「**動画モード**」のときは「**動画設定**」、
・「**再生モード**」のときは「**再生設定**」
が最初に表示されます。

②メニュー画面表示中に **M/MODE ボタン**を押すたびに、
動画設定 （ ）→ 再生設定（ ）→SD カード（ ）
→ 一般設定 （ ）
の順にメニューの切り替えを行います。

※再生モードの設定メニュー画面時に **M/MODE ボタン**を押しても、メニューの切り替えができません。
→「SD カード」もしくは「一般設定」を開きたいとき、必ず「動画モード」にしてから **M/MODE ボタン**を押し、その後、**M/MODE ボタン**でメニューの切り替えを行ってください。

【設定メニューの操作方法】



：項目の決定、解除を行います。

：短押し…画面表示をオン／オフします。
長押し…電源をオン／オフします。

：項目を上に移動したり、値を増加します。

：項目を下に移動したり、値を減少します。

：設定メニューを切り替えます。

設定メニューの内容

●動画設定（1/1）

動画を撮影するときの詳細設定を行います。

	項目	説明
1/1	動画設定 (FHD 1920×1080)	録画時の解像度を設定します。 FHD 1920×1080 HD 1280×720
	録画単位時間 （1分）	1ファイルあたりの録画時間を設定します。 1分／2分／3分
	音声録音 （オン）	音声録音のオン／オフを設定します。 オン／オフ

※リアカメラの設定は変更できません。
※(　)内は初期値を表します。

●再生設定（1/2〜2/2）

音量変更、ファイルの削除／保護ができます。

	項目	説明
1/2	音量 (5)	録画ファイルの再生音や、操作音の音量を設定します。0〜10 まで設定できます。
	削除	ファイルの削除を行います。 1つ削除／全て削除
	保護	ファイルの保護／保護解除を行います。 1つ保護／1つ保護解除 全て保護／全て保護解除
2/2	録画タイプ	閲覧する録画タイプを切り替えます。 常時／駐車／イベントの 3 種類があります。 ※フロントカメラ、リアカメラが同時に切り替わります。 常時（常時録画ファイル） 駐車（駐車録画ファイル） イベント（イベント録画ファイル）

※(　)内は初期値を表します。

●SD カード（1/1）

microSDHC カードのフォーマット、残り録画時間の確認を行います。

	項目	説明
1/1	SD フォーマット	microSDHC カードをフォーマットします。 （→P.31）

●一般設定（1/3〜3/3）

共通設定を行います。
M/MODE ボタンを押すと動画モードに戻ります。

	項目	説明
1/3	操作音 （オン）	操作音のオン／オフを設定します。 オン／オフ
	時間設定	日付と時刻を設定します。（→P.30）
	言語 （日本語）	表示する言語を設定します。 日本語／ English（英語）
2/3	自動LCDオフ （1分）	何もしない状態から、画面が消えるまでの時間を設定します。※1 オフ／1分／3分
	衝撃感度 （中）	G センサーの感度を設定します。レベルが高いと敏感に、レベルが低いと鈍感になります。 オフ（G センサーオフ）／低／中／高
	動体検知 （オフ）	録画停止中、フロントカメラのセンサーにより動体を検知すると、自動的に録画を開始します。 オフ（動体検知機能オフ）／低／中／高
3/3	設定のリセット	ご購入時の設定にリセットします。（→P.31）
	FW Ver.	ファームウェア情報を表示します。

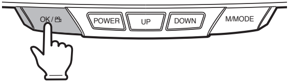
※1 画面表示が消えている時、いずれかのボタンを押すと表示されます。
※（ ）内は初期値を表します。

動体検知（駐車モード）を設定する

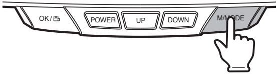
●電源を入れ直すと動体検知（駐車モード）は自動で「オフ」になります。
●動体検知を「オン」にしても、本体の電源が入っていないと、録画は行われません。使用環境に適した外部バッテリー等の電源を供給できる製品を別途ご用意ください。
●動体検知が「オン」の場合、常時録画は行われません。

●動体検知をオンにする

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。



2 **M/MODE ボタン**を押します。
設定メニューが表示されます。



3 **M/MODE ボタン**を 3 回押して、「一般設定」メニューを表示します。

4 メニューから「動体検知」を選択し、**OK ボタン**を押します。
▲／▼ボタンで「動体検知」を選択してください。

5 「低」～「高」のいずれかを選択し、**OK ボタン**を押します。

初期値は「オフ」に設定されています。いずれかを選択すると、動体検知がオンになり、駐車モードに切り替わります。

6 **MENU ボタン**を押して、動画モードに戻ります。

画面上に (パーキングマーク) が表示され、動体検知の待機状態になります。動体を検知すると録画を開始します。

●動体検知をオフにする

1 動体検知の設定を「オフ」にします。

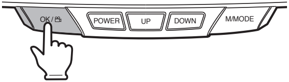
▲／▼ボタンで「動体検知」を選択してください。

2 **MENU ボタン**を押して、動画モードに戻ります。

画面上の (パーキングマーク) が消え、駐車モードがオフになります。

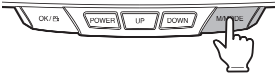
日付／時刻を設定する

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。



2 **M/MODE ボタン**を押します。

設定メニューが表示されます。



3 **M/MODE ボタン**を 3 回押して、「一般設定」メニューを表示します。

4 メニューから「時間設定」を選択し、**OK ボタン**を押します。

▲／▼ボタンで「時間設定」を選択してください。

5 時間設定画面に切り替わります。

設定項目はオレンジ色で表示されます。

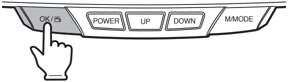
UP DOWN	:数値の増減をします。
OK/	:次の項目へ移動します。
M/MODE	:前の項目へ移動します。

6 すべて設定し終えたら、**OK ボタン**を押します。

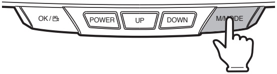
変更した数値が更新され、設定メニューに戻ります。

microSDHC カードのフォーマット

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。



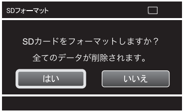
2 **M/MODE ボタン**を押します。
設定メニューが表示されます。



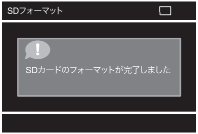
3 **M/MODE ボタン**を 2 回押して、「SD カード」メニューを表示します。

4 メニューから「SD フォーマット」を選択し、**OK ボタン**を押します。

5 「SD カードをフォーマットしますか?…」とメッセージが表示されますので、「はい」を選択し、**OK ボタン**を押します。



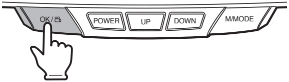
6 フォーマットを開始します。「SD カードのフォーマットが完了しました」と表示されたら、フォーマット完了です。



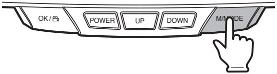
- **本機で初めて microSDHC カードを使用する場合、必ず本機でフォーマットをしてください。**
- microSDHC カードをフォーマットすると、全てのファイルが削除されますので、大切なファイルは事前にパソコン等へバックアップしておくことをおすすめします。

設定をリセットする

1 録画中の場合、**OK ボタン**を押して録画を停止します。



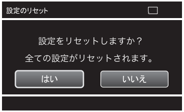
2 **M/MODE ボタン**を押します。
設定メニューが表示されます。



3 **M/MODE ボタン**を 3 回押して、「一般設定」メニューを表示します。

4 メニューから「設定のリセット」を選択し、**OK ボタン**を押します。
▲／▼ボタンで「設定のリセット」を選択してください。

5 「設定をリセットしますか?…」とメッセージが表示されますので、「はい」を選択し、**OK ボタン**を押します。



6 すべての設定がリセットされます。
リセットが完了すると、設定メニューに戻ります。

初期値一覧

【動画設定】

項目	初期値	説明
解像度	FHD	1920×1080の画面サイズで録画します。
録画単位時間	1分	1ファイルあたり約1分で録画します。
音声録音	オン	録画と同時に音声を録音します。

【再生設定】

項目	初期値	説明
音量	5	操作音や再生音の音量が5になります。

【一般設定】

項目	初期値	説明
操作音	オン	操作音が出ます。
言語	日本語	日本語で表示します。
自動LCDオフ	1分	何もしない状態から1分で画面が消灯します。
衝撃感度	中	イベント録画を行う際の衝撃感度が3段階中の中になります。
動体検知	オフ	動体検知しません。(駐車モード「オフ」)

microSDHC カードについて

microSDHC カードの取り扱い方

- **microSDHC カードの抜き差しは必ず電源を切った状態で行ってください。**
- **本機は 8〜32GB までの microSDHC カード(Class10 以上)に対応しています。**

※必ず Class 10 以上を使用してください。

※製品の性質上、全ての環境、組み合わせの動作を保証するものではありません。

●**microSDHC カードは、初めに必ず本機でフォーマットをしてからご使用ください。**(→P.31)

●端子部には、手や金属が触れないようにしてください。

●microSDHC カードに衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください。

●安定的な動作のため、1〜2週間に1度、microSDHC カードのフォーマットを推奨します。必要なデータがある場合は、バックアップをしてから実行をしてください。

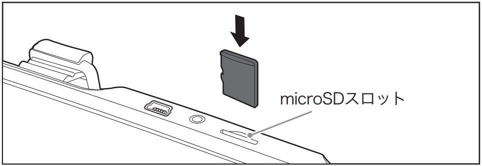
●microSDHC カードは消耗品です。長期間使用すると保存機能に問題が発生する恐れがありますので、定期的に新しい microSDHC カードに買い替えることを推奨します。

●本製品はファイルシステム FAT32 でフォーマットした microSDHC カードしか認識できません。

microSDHC カードの入れ方 / 出し方

【microSDHC カードの入れ方】

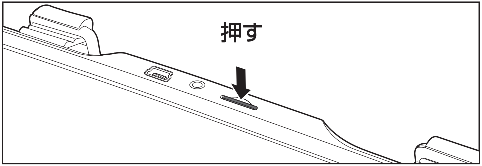
本体の電源が切れていることを確認してから、microSD スロットに microSDHC カードを図の向きに差し込みます。



※microSDHC カードの向きに注意してください。
※カチッと音がするまで、奥まで差し込んでください。

【microSDHC カードの出し方】

本体の電源が切れていることを確認してから、microSDHC カードの中央部を押して、microSDHC カードを取り出します。



※microSDHC カードの飛び出しにご注意ください。

録画ファイルについて

録画時間の目安

下記に表示された録画時間は、２カメラを使用した目安時間であり、使用状況によって異なります。

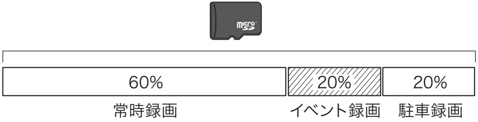
【録画時間の目安】

解像度 （フロントカメラ ＋ リアカメラ）	8GB	16GB	32GB
FHD ＋ HD （1920×1080） （1280×720）	約55分	約110分	約220分
HD ＋ HD （1280×720） （1280×720）	約80分	約160分	約320分

※フロント／リアカメラの同時録画で常時録画、イベント録画（G センサー、手動）、駐車録画によるすべての録画時間の合計です。
※リアカメラの解像度は「HD（1280×720）」で固定されています。
※スピードクラス：Class10 を使用
※上記の値は目安です。

microSDHC カードの容量の割当

録画方法によって micro SDHC カードの容量がそれぞれ割り当てられています。

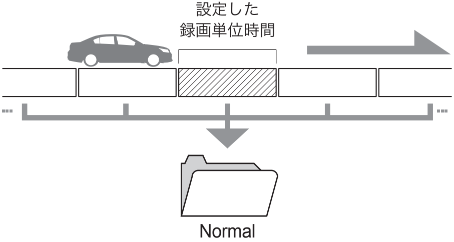


録画ファイルの種類について

【常時録画ファイル】

本機が起動してから終了するまで録画する、通常の録画ファイルです。設定した録画単位時間ごとに記録します。

- 1ファイルあたりの録画時間は1分、２分、３分に設定できます。
- フロントカメラ側は **FILE [日付 - 時刻]F.MOV**、
  リアカメラ側は **FILE [日付 - 時刻]R.MOV** という形式で、「Normal」フォルダ内の「F（=Front）」「R（=Rear）」フォルダに保存されます。
- 容量が不足すると、一番古いファイルから上書きして保存します。イベント録画ファイル、駐車録画ファイル、保護されたファイルは上書きされません。
- 録画以外の操作を行っているとき、録画（常時／イベント／駐車）は行われません。



【イベント録画ファイル】

G センサーが一定以上の衝撃を感知したり、録画中に **M/MODE ボタン**を押すと、イベント録画として保存されます。

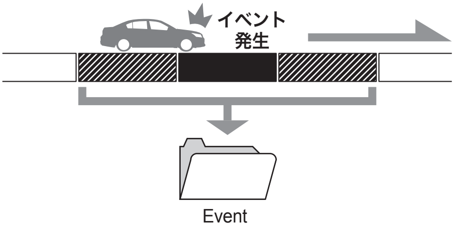
●フロントカメラ側は **EMER [日付 - 時刻]F.MOV、**
リアカメラ側は　　**EMER [日付 - 時刻]R.MOV** という形式で、「Event」フォルダ内の「F」「R」フォルダに保存されます。

●イベントが発生した前後の動画が保存されます。（計3つの動画ファイルを同時保存）

●録画時間単位は、常時録画の設定時間に連動します。

●これらの録画ファイルは上書きされませんが、microSDHC カードのフォーマットを行うと削除されます。

●ファイルを操作したい場合、再生設定で録画タイプを「イベント」に切り替えてください。



【駐車録画ファイル】

駐車モードがオンのとき、フロントカメラのセンサーによって動体を検知します。検知すると自動的に録画を開始します。

●フロントカメラ側は **PARK [日付 - 時刻]F.MOV、**
リアカメラ側は　　**PARK [日付 - 時刻]R.MOV** という形式で、「Parking」フォルダ内の「F」「R」フォルダに保存されます。

●録画時間単位は「 1分」に固定されています。

●これらの録画ファイルは上書きされませんが、microSDHC カードのフォーマットを行うと削除されます。

●ファイルを操作したい場合、再生設定で録画タイプを「駐車」に切り替えてください。

> ・microSDHC カード内に、イベント録画／駐車録画ファイルおよび保護ファイルが多くなり、上書きするための容量が不足してくると、「イベント録画／駐車録画の空き容量がありません。・・・」とメッセージが表示されイベント録画／駐車録画ができなくなります。その場合、別の micro SDHC カードを用意するか、ファイルをパソコン等にバックアップしてから microSDHC カードのフォーマットを行い、空き容量を確保してください。
>
> ・常時録画は上書きされますので録画し続けますが、保護されたファイルでいっぱいになると、録画ができなくなります。

パソコンでファイルを見る

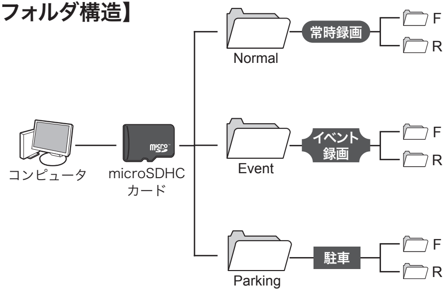
録画ファイルはパソコンで再生／表示することができます。

1 パソコンに microSDHC カードを挿入します。
(別売の microSD カードリーダー等を使用します)

2 リムーバブルディスクの microSDHC カードを開きます。

3 それぞれのファイルが保存されているフォルダ（Normal、Event、Parking）を開きます。

【フォルダ構造】



※常時録画は Normal、イベント録画は Event、駐車は Parking にフォルダ分けされています。

4 録画ファイルは、以下のプレーヤーで再生できます。
●コーデックに対応した動画プレーヤー
MOV（ビデオ : H.264　オーディオ : ADPCM）

【パソコンでの表示画面】

❶ **表示画面**　選択したファイルの映像が流れます。

❷ **録画日時**　録画した日時を表示します。

※すべてのパソコンにおいて動作を保証するものではありません。
※本機とパソコンを USB ケーブル等で直接接続しないでください。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

症　　　状	処　　　　　置	
電源が入らない	専用シガー電源アダプターが正しく接続されているかご確認ください。	P.11
	シガーソケットの内部が汚れていたり、異物がないかご確認ください。	P.11
microSDHC カードに録画できない／microSDHC カードが認識できない	microSDHC カードが正しく挿入されているか確認してください。	P.33
	microSDHC カードをフォーマットするか、新しい microSDHC カードに交換してください。microSDHC カードは消耗品ですので、長期間使用した場合、正常に動作しない場合があります。（※正常に認識できない場合、microSDHC カードが破損している可能性があります。）	P.33
常時録画ができない	保護された常時録画ファイルが microSDHC カード容量の 60% を超える、または別のファイルで容量が不足していると、常時録画ファイルが生成できません。ファイルの保護を解除する、もしくは microSDHC カードのフォーマットを行ってください。	P.22 P.31 P.34
イベント録画ができない	イベント録画ファイルが microSDHC カード容量の 20% を超えると、イベント録画ファイルが生成できません。イベント録画ファイルを削除するか、もしくは microSDHC カードのフォーマットを行ってください。	P.25 P.31 P.34
	衝撃感度の設定値を調整してください。	P.29
駐車録画ができない	駐車録画ファイルが microSDHC カード容量の 20% を超えると、駐車録画ファイルが生成できません。駐車録画ファイルを削除するか、microSDHC カードのフォーマットを行ってください。	P.25 P.31 P.34
	動体検知を「オン」にしても、本体の電源が入っていないと動作、録画は行われません。	P.29
音声録音ができない	音声録音の設定がオンになっているか、ご確認ください。	P.16
	本機のマイク部に異物がないか、マイク部を遮るものがないかご確認ください。	P.6

症　　状	処　　　　　置	
映像が汚い、映像が乱れる	カメラレンズまたは車のガラスを乾いた布などできれいに拭いてください。	P.8
	他の電子機器（GPS 機能付き製品、VICS 受信機、TV ／ラジオアンテナ等）が影響している可能性があります。	P.12
画面が消えてしまう	本体の電源がオンになっているかご確認ください。	P.13
	「自動 LCD オフ」が設定されていないかご確認ください。 ・常に画面表示をしたい場合、設定を「オフ」にしてください。 ・画面表示が消えているとき、任意のボタンを押すと表示されます。	P.29
操作が効かない／画面がフリーズして動かない／誤作動を起こす	本体の電源をオフにしてから、再度電源をオンにしてください。 それでも解決しない場合、本体背面のリセットボタンを押して再起動を行ってください。	P.17
リアカメラの映像が表示されない	接続ケーブルが正しく接続・配線されているかご確認ください。	P.9
	本体の UP ボタンを長押しして、リアカメラの映像を表示してください。	P.14
リアカメラの映像が上下反転している	専用リアカメラのブラケットの△印が上を向いて設置されているかご確認ください。 リアカメラの映像は、画面に鏡像で表示されますが、正像で記録されます。	P.10
日付がリセットされてしまう	長時間使用していなかった場合、日付／時刻がリセットされてしまいます。その際は、「日付／時刻」の設定をしてください。	P.30

上記で問題が改善しない場合、または部品の追加購入について

エンプレイス・サポートセンター **0570-005-051** までご連絡ください。

仕様

ドライブレコーダー本体

サイズ／重量	約 (W) 320 ×(H) 95 ×(D) 20 mm（バンド、レンズ部を除く）／ 約 300 g
記録媒体	8GB microSDHC カード（Class10）付属
	8〜32GB microSDHC カード（Class10 以上）に対応
カメラ	200 万画素 CMOS センサー FULL HD WDR（ワイドダイナミックレンジ）搭載（※フロントカメラのみ）
	対角 130°／水平 100°／垂直 60°
	FHD 1920×1080 ／ HD 1280×720
フレームレート	27.5 fps
音声	マイク、スピーカー内蔵
G センサー	3 軸 G センサー
電源電圧	DC 5V（専用シガー電源アダプターで DC12V ／ 24V 車に対応）
最大消費電流	500mA
動作温度	-10℃ 〜 60℃
録画	常時録画（録画単位時間：1 分、2 分、3 分）
	イベント録画（録画単位時間：常時録画に連動）／駐車録画（録画単位時間： 1分）
	エンジン オン／オフ に連動して記録
動画ファイル形式	MOV（ビデオ：H.264、オーディオ：ADPCM）※
LCD（液晶ディスプレイ）	5 インチ (IPS)
ミラー形状	平面型

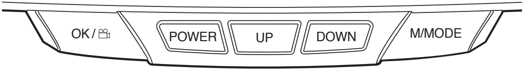
リアカメラ

サイズ／重量	約 (W)45 ×(H)30 ×(D)30 mm ／約 15 g
カメラ	100 万画素 HD
	対角 112°／水平 90°／垂直 80°
	HD 1280×720
フレームレート	30 fps
録画	録画単位時間：フロントカメラに連動
動画ファイル形式	MOV（ビデオ：H264、オーディオ：ADPCM）※

※一般の動画プレーヤーで再生できます。MOV(ビデオ:H.264、オーディオ:ADPCM) が再生可能なプレーヤーが必要です。

基本操作一覧

操作ボタンの基本的な操作一覧表です。詳細な操作方法は該当するページをご参照ください。
※長押しは、各ボタンを約2秒ほど長めに押すことを示します。



		動画モード		再生モード	設定メニュー
		録画中	一時停止中		
OK/	短押し	録画を停止	録画を開始	・録画ファイルを再生 ・再生中：一時停止	項目の決定、解除
	長押し	-	-	-	-
POWER	短押し	画面表示をオン／オフ			
	長押し	電源を切る			
UP	短押し	-	-	前のファイルに移動	・上の項目に移動 ・値を増加
	長押し	フロントカメラ⇔リアカメラ切り替え		-	
DOWN	短押し	音声録音の ON/OFF を切り替え	-	次のファイルに移動	・下の項目に移動 ・値を減少
	長押し	-	-	-	
M/MODE	短押し	現在録画している映像を保護／保護解除	設定メニューを開く	設定メニューを開く	設定メニューの切り替え
	長押し	-	再生モードに切り替え	動画モードに切り替え	-

アフターサービス

保証について

本製品の保証期間はお買い上げ後1年間です。
保証期間中は保証規定に従って修理させていただきます。
保証期間外でも修理により性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償修理させていただきます。
（消耗品は原則的に保証対象外となります。）

修理に関するご相談窓口

受付時間をご確認の上、エンプレイス・サポートセンターにご連絡ください。

■アフターサービス及び製品に関するお問い合わせは
「エンプレイス・サポートセンター」までお願いします。

0570-005-051 平日　午前 10 時から午後 5 時まで（土日祝祭日、当社の休日を除く）

休日前後は電話がつながりにくい場合があります。
その際は時間をおいてからおかけ直しいただきますようお願い致します。
アフターサービスのためにサポートセンターに商品をお送りいただく場合の送料は、
保証期間内外を問わず、お客様のご負担となります。

販売元：株式会社エンプレイス